

根来山げんきの森だより 162号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

○3/17(日)

第19回 根来山げんきの森植樹祭

根来山げんきの森では毎年少しずついろいろな種類の樹木を植え、多様な生き物が暮らす森づくりをおこなっています。

今年は昨年9月の台風21号で大変な被害を受けた手づくりの森にコナラやヤマザクラを中心に植樹します。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：平成31年3月17日(日) 10:00~12:00 ※受付 9:30~

内容：植樹作業 ※雨天中止

植樹予定：アカマツ・ヤマザクラ・コナラ・クヌギ・マユミほか

定員：50名

締め切り：3/15(金) ※定員になり次第締め切らせて頂きます

参加費：¥200 (小学生以上 幼児無料)

持ち物：森の中で作業できる服装でお越しください

申込み：氏名、電話番号、年齢を電話、FAX、メール(裏面参照)で事務所にお申し出ください。

げんきの森で最も紅葉の美しい樹木の一つです。もちろん、寒いこの季節は葉を落とし静かに春を待っていますが、中にはたくさんの実をならせたままの株も所々に見られます。ハゼノキは雌雄別株なので雌株にはたくさんの実がなるのです。

この実のタネを覆う皮の部分にはたくさんの蠟成分が含まれており、和蠟燭の原料として使われます。

げんきの森にはウルシの仲間としてヤマハゼとヤマウルシという樹木がありますが、この実からも蠟は採れるようです。でも、量も少なく質もそれほどでもないので、300年ほど前に東アジアや沖縄などに分布していたハゼノキが導入されたようです。導入されたハゼノキは西日本各地で品種改良に取り組み、品質、収量の改善が行われました。今では全国で100を越える品種があるよ

ハゼノキ(ウルシ科)



うです。和歌山県には「葡萄ハゼ」と呼ばれる栽培品種があり、枝変わりの突然変異と言いつたえられています。遺伝子分析を行うとこの地域の野生種であるヤマハゼと交配させている可能性が出てきました。

和歌山県でハゼノキが見られる標高200m以下の地域に生育しているヤマハゼはハゼノキとの雑種になっている可能性が高いと研究者は考えているようです。もちろん、寒さが苦手なハゼノキが侵入していかない標高の高い地域に生育しているヤマハゼは雑種ではなく純粋なハゼノキだと思います。

先日、ハゼノキの実から蠟を搾ってみたのですが、1升程度の実から130gの蠟が採れました。

公園に入る進入道路ぞいにたくさん実を付けたハゼノキの雌株を見ることができます。



根来山げんきの森 2月・3月の催し

3/2(土) 自然観察会

冬から早春にかけて現れる、「三寒」「四温」の気候は、俳句では「冬」の季語に使われるそうです。

もうすぐやってくる春を感じながら、里山の草木を倶楽部員と観て歩きましょう。

日時：3月2日(土)13時～15時

参加費：200円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。

3/3(日) ふれあいの森プレーパーク

-- 森で遊ぼう -- 毎月第1日曜は「森で遊ぶ日」

昨年9月の台風被害でお休みしていましたが、春を目前にして復活します。遊びに来てください。

日時：3月3日(日)

10時～15時 ※受付 14時まで

※都合のいいときに来て遊んで下さい。

参加費：一人100円(保険料として)

3/3(日) 冬のネイチャーゲーム

～冬の森で春をさがそう! 見つけてみよう!～

冬は寒いけど、冬ならではの楽しみがあります。お日様が意外に暖かかったり、森の鳥が元気に鳴いていたり葉っぱが落ちた木には、もう春の準備が始まっています。

森の中で、五感を使って楽しみましょう!

日時：3月3日(日)

10時～12時 ※受付 9時30分

参加費：子ども 300円・大人 400円



昆虫調査隊員募集中：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 2月2日(土)13:00～ 自然観察会
16:00～ 運営会
10日(日)9:30～ 七草餅つき準備
11日(月)8:00～ 七草餅つき
16日(土)9:00～ 根来寺サクラ100本植樹
17日(日)9:30～ 定例活動
23日(土)9:30～ 竹細工同好会
24日(日)9:30～ 近大貸山
3月1日(金)9:00～ 通常開園
2日(土)13:00～ 自然観察会
17:00～ 運営会
3日(日)10:00～ プレーパーク
10:00～ ネイチャーゲーム
10日(日)8:45～12:00
第13回岩出マラソン大会 通行止め
13:00～ 昆虫調査隊
17日(日)9:30～ 定例活動
23日(土)9:30～ 竹細工同好会

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟(Tel&FAX 0736-61-7233)まで。火曜定休日
事務局E-mail: forest-o@ares.eonet.ne.jp

活動日作業日誌：平成31年1月20日

【ニホンミツバチの巣箱回収】9:30～15:00

冷たい雨が降り、雨が止むと今度は強い風が吹き、とても寒い中の作業でした。倶楽部員8名でごおらの設置場所に、一輪車3台で向かいました。

ニホンミツバチに詳しい倶楽部員の方から、ニホンミツバチの生態や巣箱についての話をお聞きしていると、あっという間に到着しました。

すべてのごおらを管理棟まで運び、木が腐っているなどして使えないごおらは、分解して焼却しました。使えるごおらは引き続き使用し、足りない分は丸太を切り出して作るそうです。燃やした炭を使うときれいに丸太の中をくり抜けるようで、2月の定例活動では、その作業をする予定です。面白そうで非常に楽しみです。

現在、ニホンミツバチの住める森や木の洞が減っているそうです。ごおらを用意してニホンミツバチを増やし、受粉を通して森が豊かになり、森の恵み(はちみつ)のおすす分けをいつかいただける日が来るといふなと思うと、胸が熱くなります。

私は久々に身体を使うことができ、気持ち良い汗をたっぷりかくことができました。作業終了後、昼食時に作っていただいた熱々の豚汁が、冷えた身体に染み渡り、たいへん美味しくいただきました。

